

カトリック二俣川教会
教会だより



二十六聖人

2023年 4月号

No. 357 (2023年4月2日 発行)

カトリック二俣川教会 TEL 045-391-6296

<http://www.futamatagawa-cc.com/>

主任司祭：ヤコブ 姜 真 求 (カン ジング)

巻頭言：主の死と復活のしるしであるミサ聖祭

ご復活祭、おめでとうございます。死に打ち勝たれたイエス様の復活の恵みといのちが、信者の皆さんにいつも豊かに注がれるよう、お祈り致します。神様はイエス様の死と復活を通して新たないのちへの門を開き、そこに至るまでの道を示してくださいました。その道とは愛の道であり、イエス様は常に御言葉と良い業を通して、わたしたちに向かう神様の愛と慈しみを証しされました。そして、最後の晩さんの食卓と十字架という特別な食卓で、神様の愛をより明らかに示してくださいました。それこそ、神様の小羊であるイエス様のまことの務めだったでしょう。それを考えたら、イエス様の復活は、わたしたちに向かう神様の愛と慈しみによる救いの証拠であると同時に、新しいいのちへの約束であることが分かります。

そのイエス様は復活された後、「わたしは世の終わりまで、いつもあなたがたと共にいる。」と約束し、その約束のしるしをわたしたちに残してくださいました。そのしるしとは何でしょうか。それは言うまでもなく、まさにミサ聖祭でしょう。ミサの中でわたしたちは、イエス様の最後の晩さんを執り行いながら、イエス様の御言葉によってイエス様ご自身の御体と御血に変わる「パンとぶどう酒

の神秘」に与ります。このミサ聖祭の神秘を通して、わたしたちはいつも共におられるイエス様に会い、イエス様の死と復活を記念しつつ、イエス様のいのちに与れるようになるのです。

ところで、ミサを捧げる際、祭壇の上には小さな十字架を置く慣習があります。それは、第二バチカン公会議以来始まったとも言われますが、そもそも置かなくても問題はありません。ちょっとだけ、典礼的なことを申しますと、公会議の以前は、司祭は会衆に背を向けて、聖堂の正面の壁にある十字架に向かってミサをささげました。それは、最後の晩さんを記念する祭壇の上の聖祭と十字架上の聖祭が別のものではなく、唯一の犠牲聖祭であることを表すためでした。しかし、公会議の典礼刷新にそって司祭と会衆の間に祭壇が置かれて、司祭の目には十字架が見えなくなり、それから祭壇の上に司祭のための小さな十字架を置いたりしているわけです。でも、祭壇の上の聖祭と十字架上の聖祭が一つの聖祭であるのは変わらない真実でしょう。

ちょうど3年ぶりに、人数制限なしのミサに戻ります。多くの人たちが犠牲となり、悲しみと苦しみの日々を過ごしてきましたが、

そのさなかでも、慈しみ深い神様はわたしたちを守ってくださいました。そして、信者の皆さんの協力のお陰で、ようやくこの危機を乗り越え、ついに、教会の姿や活動を回復できるようになったと思います。その姿と活動の中で、何よりも大切なのは言うまでもなく、ミサ聖祭でしょう。

ミサ聖祭こそ、世の終わりまでわたしたちと共におられるイエス様のものであり、教会のあらゆる諸活動の源なのです。そのミサ聖

祭の中で、わたしたちは神様の愛と慈しみのうちに、イエス様の最後の晩さんと十字架という特別な食卓、また、イエス様の復活と永遠のいのちに導かれます。それはご自分の独り子の御体と御血によって「新たに成れ。」という、神様の招きでしょう。その招きに答えて、ミサ聖祭を中心とした共同体として、この信仰の道を共に歩み続けましょう。

主任司祭 ヤコブ 姜 真求

2023 年 3 月 教会委員会報告

【神父様のお話】

伝統的に山と言う場所は神様に会おう場所として理解されています。

イザヤ書 52 章 7 節の御言葉を紹介します。「いかに美しいことか山々を行き巡り、良い知らせを伝える者の足は。彼は平和を告げ、恵みの良い知らせを伝え救いを告げあなたの神は王となられた、とシオンに向かって呼ばわる。」

イエス様が亡くなられたゴルゴタの丘は、罪びとたちが死を迎える死刑場です。自分の罪によって死ななければならぬ場所です。イエス様はゴルゴタの丘で亡くなられましたが、そこは罪の赦しによる救いを証された場所でもあります。

私たちは、体の復活、永遠の命を信じますと祈りながら、一緒に信じている仲間たちを復活させなければ、私たちの信仰は意味のないものになります。罪や咎や過ちに対して、赦しだけではなく、神様のような心を持ってイエス様のみこころに倣い、ゴルゴタの丘で相手を殺すのではなく、ゴルゴタの丘で相手を赦し、理解し、受け入れてあげる事で互いに復活し合うことが出来ます。このことを四旬節の間に黙想する事をお勧めします。

世の中には様々なゴルゴタの丘があります。自分の心の中にゴルゴタの丘があります。誰を殺し、誰を裁き、誰を軽んじているのかを考え、山の上で神様の慈しみと愛が施されることが出来るように願います。

【今月の検討項目】

1. 2 月教会委員会での課題

●「これからの教会について」の意見・提案、募集は専用投函箱を常設する。

●外部団体の集会室使用は、感染症分類が 5 類になるのを目途に、利用ガイドラインを遵守する団体に使用を認める。

2. 復活祭以降のミサに関して（4 月 15 日（土）の主日ミサより）

●地区割をなくし、ミサ時間を土曜日：17：00 日曜日：7：00、10：00 とする。

●駐車場利用は、10：00 ミサは許可車両のみとする。

●周知方法は、メール・FAX・教会 H P ・今週のお知らせ掲載、ミサでのお知らせ。

●上記に変更する為に、懸案事項抽出とその対応が必要。各委員会・ミサ対策チームから適切な方法、有り方を提案いただき、その提案を 4 月の教会委員会で審議する。

3. イースターエッグに関しては、市場で卵が不足状態にあり価格高騰の折、イースターエッグは中止とするが、代替案があれば提案いただきたい。

4. 売店再開準備に関しては、事務所より売店担当に準備依頼を行った。4 月 16 日（日）以降に準備が整い次第再開とする。

5. 事務所：4 月 8 日（土）復活徹夜祭当日 18：00～21：00 の間事務所を運営する。

6.各会報告

①典礼

- ・ミサ5分前より「災害被災者のための祈り」を行っています。これはウクライナの戦争被害者とトルコ・シリア地震による被災者のための祈りです。
- ・3月12日（日）より聖歌隊がいつくしみの賛歌・感謝の賛歌・平和の賛歌を歌います。譜面は配りますが、音程は聖歌隊の歌を聴き耳で覚えて下さい。復活祭には、全員で歌います。
- ・聖木曜日：洗足式はありません。
- ・聖なる復活の徹夜祭：光の祭儀はロビーで行い、ロウソクと配布物は予め席に置きます。ミサ中に洗礼式・堅信式が行われます。

②教会学校

- ・初聖体勉強会は1名申込があり勉強会をスタート。
- ・3月19日（日）教会学校終了式・卒業式を行う。
- ・次年度の教会学校申込書は3月末に各家庭に郵送予定。

③キリスト教講座

- ・2月25日（土）水上師（保土ヶ谷教会小教区管理者）指導の下、黙想会を行なった。
- ・2月26日（日）藤沢教会での合同入信志願式に参加した。
- ・3月11日（土）二俣川教会にて入信志願式が行われる。

④広報

- ・教会HPの委員会・信徒会の紹介ページ更新の必要性有無を連絡下さい。

⑤福祉

- ・年末福祉献金先の全団体からの受領書を受け取った。
- ・献金先の活動報告を教会誌「二十六聖人」4月号より掲載。
- ・支援している福祉団体による紹介を、ミサ後に行う計画を立案中。

⑥建物管理

- ・教区よりエレベーター改修工事の承認を得ました。工事費用の詳細を打ち合わせ中。

⑦共同墓地

- ・2月26日（日）共同墓地担当者ミーティングを実施。
- ・2月に共同墓地利用申請（生前予約者4名、埋葬者2名：納骨）の対応を行う。

⑧ヨゼフ会

- ・コーヒー光を2月5日（日）、26日（日）マリア会とのコラボで2回実施。
- ・定例会を2月26日（日）に実施。議題はコロナからの正常化に向っての2023年度体制について。
- ・コーヒー光は月2回計画したい。定例会は第三日曜日とする。

⑨マリア会

- ・ボリビア支援グループのジャム対面販売2月5日（日）、2月26日（日）11時ミサ後、前庭にてヨゼフ会とコラボで2回実施。
- ・前庭での対面ジャム販売を月2回計画。可能かを教会委員会にて検討してほしい。（駐車場を占有してしまう為）

⑩青年会

- ・青年会定例会を2月19日（日）実施。
- ・韓国訪問計画：予定人数 学生4名、青年（社会人）5名。学生の参加費（10万円/人）の半額程度のサポートを検討中。参加費用サポートのための具体的施策を3月19日（日）定例会にて検討する。

⑪インターファミリー

- ・定例ミーティングを2月26日（日）に実施。テーマ：教会HPにインターの紹介を掲載する件の打ち合わせ。
- ・次回定例ミーティング：3月26日（日）を予定。テーマ：教会HP内容検討及び決定

⑫第三地区委員会

- ・第三地区共同宣教司牧委員会 4月30日（日）15：00～（於：末吉町教会）

⑬一粒会

- ・定例会を2月19日（日）に実施。テーマ：一粒会献金対応、シノドス「旅の同伴者」のわかちあい。
- ・3月定例会を3月19日（日）に予定。ヨゼフ会定例会後。テーマ：一粒会献金対応、シノドス「聴くこと」のわかちあい。

以上

*** カトリック二俣川教会信徒集会 議事録 ***

日時：2023年3月12日（日） 12:15～13:40

出席者 姜真求神父、新旧教会委員、地区世話人、信徒の皆様

当日配布資料

- ①2023年カトリック二俣川教会信徒集会資料（両面 11枚）
- ②地区の名簿一式（地区世話人のみ）

◇司会：A. N.（教会委員会 副委員長）

【1】初めの祈りと挨拶（姜 神父）

「主の祈り」の後、刷新する教会でありたいとの趣旨のお話で、信徒集会が開催されました。

【2】2022年教会委員の紹介：個々人の紹介を割愛し拍手を以って慰労された。

【3】2022年教会委員会活動報告：K. より資料4・5Pの内容に沿い、シノドスの取り組みの大切さと、2022年教会基本方針に対しての具体的活動内容が報告された。

【4】財務委員会報告：N. 氏（財務委員長）より、資料6・7Pの内容に沿い決算概要が報告された。収入では、献金世帯数減にともない月定献金額が減じていること、支出では、水道光熱費、照明のLED化、避難通路整備等での支出増が報告された。

Q1: 一世帯での平均献金額を教えてください。（新信徒への説明のため）

A1: 幾らと言う取り決めはなく、出来る範囲で行って欲しい。

Q2: 月定献金の振込割合は何%か？

A2: 37件/月で、1%未満です。

提案：事務の軽減を考えて、銀行振り込みを促進させるべきである。

【5】委員会・信徒会の活動及び活動予定の報告は、集会後に資料を一読いただくこととし、2023年の教会委員の紹介を資料19Pに沿って行った。

【6】2023年二俣川教会の基本方針を、資料20Pの内容に沿い概略が報告された。

Q: 日曜日のミサ時間の変更が7時、10時を8時、10時では無理か。

（ミサに与る人の分散化の為）

A: 早めに出かける人のために早い時間にしている。侍者会教育、ミサ前の聖歌隊練習を考えて、7時、10時とした。

【7】レターケース配布物取扱いと地区の名簿の取り扱いについての説明と質疑がなされた。

Q1: レターケース配布物の郵送を事務所へ依頼するとあるが、事務所に依頼しない事も可能か。

A1: どちらでも問題ない。世話人の判断でお願いします。

Q2: 提案にある、名簿の連絡員への配布をレターケースの利用を控えると言う事は、疎遠になっている連絡員もいるので難しい面もある。

A2: 郵送の方法もありますので、事務所に相談願いたい。

決定事項：種々の意見から、今回配布した地区の名簿は世話人の方が責任を持って管理する事とし、連絡員との情報共有に関しては地区世話人に一任する事となった。

【8】結びの祈り（姜 神父） 「日本二十六聖人殉教者の祈り」

文責：K. A.

四旬節の黙想会が行われました

2月25日（土）に保土ヶ谷教会の水上神父様のご指導による黙想会が行われました。参加者のお一人から感想文が寄せられています。

「聖書は重い！」

二俣川駅から教会までの登り坂、いつも聖書がもう少し軽ければと思っていました。黙想会で水上神父様のお話を聞くまでは。神父様は、『**聖書が重いのは神様の言葉がつまっているからです。**』と言われました。

あー、だから重いんだ！だから大切なんだ！ 反省しきり、です。

黙想会後にゆるしの秘跡がおこなわれ、その後の17時からのごミサは、水上神父様の二俣川教会での初ミサとなりました。



2023年度入門講座開講のお知らせ

キリスト教を勉強したいと思い、教会に来られた方のために、入門講座を開講いたします。お近くに関心をお持ちの方がいらしたら、是非お誘い下さい。

- | | | |
|---------|----------------|---------|
| ・水曜日コース | 10時ミサ後～12:30 | 5月10日より |
| ・土曜日コース | 15:00～16:30 | 5月13日より |
| | (17時からミサがあります) | |

* 月2回位講座を行う予定です。

* 申し込み用紙はロビーのレターケースの上と事務所にあります。

キリスト教講座委員会

卒業の季節♪

3月19日、教会学校の終業式と卒業式が行われました。
卒業する皆さんの声をご紹介します！

《祝》小学校卒業》



K. A. です。中学生になって
も、勉強を頑張って成績を上
げたいです。

《祝》中学校卒業》



F. N. です。自分はソフトテニスをしていて、高校
でもソフトテニスをするつもりですが、
ちょっと…頭があんまり良くないので、高校では
勉強も頑張ってスポーツも頑張って、両方両立
して充実した高校生活を送りたいです。

《祝》中学校卒業》 M. A. です。

今までは吹奏楽部で音楽を楽しんで
きましたが、高校では新しい楽しみを見つけながら、
誰かのために頑張れる自分になりたいです。

《祝》高校卒業》



M. A. です。大学生になります。大学に入ったら、バイトをしたり、色々新しいチャレンジを
して人生のプラスになるような大学生活にしたいです。今年は今日の一回しか来ていなくて
(教会学校に)、図々しく卒業するのですが…大学になったらもう少し暇になると思うので、
もうちょっと顔を出したいと思います。

——上記は3月19日の卒業式でのインタビューと、欠席の卒業生への後日のインタビュー内容です——

高校卒業となり、侍者会からも卒業となった高校生2名に、
教会学校や侍者の思い出、今後の抱負を深掘りして聞いてみました！



無事高校を卒業でき、とても嬉しいです！私はほぼ毎週教会に行くことができ侍者の役
割を果たし、一週間に一度しか会えない友達との交流をいつも楽しみにしていました。

教会は私の人生の一部です。特に小さい頃からずっとやっていた侍者では、神父様、リー
ダー、一緒に侍者をやった仲間にとっても感謝しています。ゼロから全部教えてくれて、リーダー達のお
かげでここまで成長することができました。大変だった部分もあり、1人でやったりすることもありま
したがやってよかったと本当に思っています。これからもこういう役割をやっていきたいし、今では先
輩という立場になったので後輩を見守って色々教えていきたいです。本当にありがとうございました。

O. Y.



3月をもって教会学校を卒業しました。ありがとうございました。私は幼児クラスから合わ
せて15年間教会学校にお世話になりました。教会学校でリーダー方から教えて頂いたこと
は普段の生活の中でも私を支えてくれるものばかりでした。朝の会で紹介して下さった

T. A. 『花さき山』や、堅信の勉強会で紹介して下さったマザーテレサの言葉を集めた本の1節な
どにヒントを得て学校で発表したこともあります。そしてその経験が新しい進路を獲得する際に大きく
役立ちました。

また、私が二俣川教会に通い続けることが出来たのは周りの方達のおかげだと思います。友達に会え
たり、侍者の奉仕をしたり、小さい頃から面倒を見て下さった青年会のみなさんにご飯を食べたり、家
族をきっかけに声をかけて下さる方とお話したりと、いつも楽しいことばかりでした。これからは私が
して頂いたように教会で新しく仲間になった方が、また教会に来たいと思ってもらえるような雰囲気
を作れる人になりたいと思います。これからもよろしくお願いします。

ナン神学生 終生誓願式、そして祭壇奉仕者選任式の報告

◆終生誓願宣立◆おめでとうございます！

3月の初め、終生誓願準備黙想会を過ごされていたナン神学生は3月4日、二宮教会にて行われた『終生誓願ミサ』にて、終生誓願を宣立されました。



←連願

記念写真→
左からタム神父様
ナン神学生、
ロック管区長神父様、
グエップ神学生、
トゥ神父様



ナン神学生は横浜教区の神学生ですが、その前に既に「信仰の宣教修道会」の修道士で『誓願』というものを立てていらっしゃる。それは、貞潔・清貧・従順の三つを守る約束の誓願です。この度、初誓願からの期間を終え、『終生誓願』を宣立されました！一生涯、修道会の会員として約束を生きることになります。

◆祭壇奉仕者の選任◆おめでとうございます！

祭壇奉仕者は、助祭職、司祭職に向かう歩みのひとつです。カトリック教会が最も大切にするミサ聖祭で、祭壇に関して奉仕します。(ナン神学生は昨年、「朗読奉仕者の選任」を受けました。今回はその次のステップといえます。) 教会の司牧責任者(主任司祭)の指導、監督のもとに、司祭や助祭の仕事に協力し、また奉仕者として病人も含めて信者に聖体を授ける特別な務めが託されます。“プロの侍者”と考えても良いかもしれません。また、感謝の典礼の時に祭壇の準備、そして片付けもします。



3月28日 山手教会にて。祭壇奉仕者の選任式の様子。

「二十六聖人」5月号より、ナン神学生にいろいろな質問に答えていただくコーナーの連載をスタートします。名付けて『ナン神学生にナンでも聞いてみよう♪』どうぞお楽しみに！！

福祉委員会からの報告

昨年 12 月 26 日に、年末福祉献金として、7 団体に合計 62 万円をお送りしました。献金先は、ラルシュカナの家、ワンデーポート、横浜ダルク、横浜マック、ENCOM YOKOHAMA、日本カトリック信徒宣教者会(JLMM)、わたぼうし教室（子どもの貧困支援）です。

皆さま、温かいクリスマス献金ありがとうございました！

今回は、「ENCOM YOKOHAMA」と「わたぼうし教室」からのお手紙を紹介します。（一部抜粋）

◇ENCOM YOKOHAMA（横浜教区難民移住移動者委員会）

✦ 主の平和

新型コロナの感染も落ち着きだし、街には賑やかな風景が取り戻されてきました。そのような中、カトリック二俣川教会の皆様にはご健勝でお過ごしのことと存じます。

さて、ENCOM YOKOHAMA の活動についていつも心にかけていただき、まことにありがとうございます。昨年末に、ご芳志をお送りいただき、厚く御礼申し上げます。

弱い立場にある日本の難民移住移動者の置かれている境遇は、とりわけコロナ禍の影響で経済活動が大きく停滞する中で一段と厳しさを増していて、支援の必要性が増しています。ご芳志を大切にに使わせていただきます。

これからも、各種相談、コミュニティづくりのほかに、東日本・横浜・品川の各入国管理センター訪問、各種講演会開催等を積極的に行っていきたいと考えています。

スタッフ一同、父である神のもとに民族、国籍を超えて共に生きる社会の実現のために奉仕して参る所存です。よろしくお願い申し上げます。

神様の祝福と豊かな恵みが 2023 年もまた皆様にありますようお祈りいたします。

ENCOM YOKOHAMA 代表 F・D・S

◇わたぼうし教室

毎年、外国にルーツがある子どもたちをお支え下さいまして心より感謝申し上げます。頂戴いたしましたご寄付は、子どもたちの教材費、文具代、またボランティアの交通費などに大切にに使わせていただいております。

皆様お一人お一人に直接感謝の気持ちをお伝えすることができず、心苦しいですが、皆様のご多幸をお祈りしております。本当にありがとうございました。

【活動報告】

2022 年は、移住労働者の子どもや、国際結婚で生まれた子どものほかに、ウクライナ避難民の子どもや、アフガニスタン退避者の子どもたちが新たに加わりました。戦火の母国に家族を残して来たま日本で生活を始めた子どもたちの心のケアも重要な課題となりました。幸いペルシャ語やロシア語、英語で子どもたちや保護者をサポートできるボランティアスタッフに恵まれたため、彼らが分かる言葉で学習支援をしながら、生活支援や精神的支援にも力を入れました。

わたぼうし教室 O. A.

『日本二十六聖人 を 知ろう！』 ～ 学び、共に歩む ～

Vol.6: 岡山教会と聖ディエゴ喜斎

岡山カトリック教会 (<http://catholic-okayama.jpn.org/>) は、殉教400年を記念し、1996年秋に付近を整備、『聖ディエゴ喜斎記念公園』としました。毎年5月に芳賀巡礼として、岡山教会から現地まで徒歩巡礼を行い、野外ミサを捧げています。2001年の新聖堂献堂を機に教会の保護聖人と定め、聖堂名を『聖ディエゴ喜斎記念聖堂』と名付けました。岡山教会に問い合わせ、資料(①～⑤)を送って頂きましたのでご紹介します。

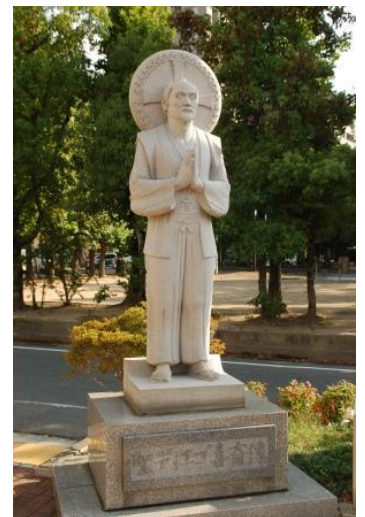
① 日本二十六聖人／殉教者聖ディエゴ喜斎とふるさと岡山…A6版小冊子



16世紀のポルトガル人、イエズス会宣教師ルイス・フロイスの書き残した「日本二十六聖人殉教記」によると、聖ディエゴ喜斎は岡山一宮芳賀の生まれ、1596年に大阪でパウロ三木、ジョアン五島とディエゴの三人で暮らしていました。大名宛に手紙を書くなど、教養の高い人でなければならぬ接待係を務め、客人のためにお茶をたて、きれいな字を書き、落ち着いておとなしく、キリストのご受難に対して大きな信心を抱き、心から望んで、ご受難についての話を小さな本に自ら書き写し、いつも着物の中にしまっ、よく黙想していたとあります。死刑と決まり耳を切り落とされたとき、神父に切られた耳を持っていくと、神父は殉教の最初の血として神に捧げました。長崎までの遠い道のりにおいて、牢屋の中で夜通し祈り、説教をしたり、歌ったりして過ごしました。パウロ三木の手紙には「ディエゴはがんばっている、よろこんでいる」と書かれており、十字架上で歌いながら、よろこんですべてのことをキリストに捧げたのでした。

「聖ディエゴ喜斎に取り次ぎを願う祈り」

あなたは芳賀を後にし大阪教会の受付として働きました。四百年前に起きた迫害の時に長崎に連行されて殉教した二十六人の最年長者でした。わたしたちはあなたを崇敬しています。そして岡山教会の入り口にたてられた石造が表すあなたにならい、福音のあかしをしたいと願って祈ります。どうかこの祈りを神のもとで取り次いでください。



② パンフレット(日本語・英語・スペイン語・ポルトガル語)

③ 広島教区殉教地・巡礼地案内 A6版小冊子

④ 殉教地 鶴島 A6版小冊子

⑤ 百周年記念公園Ⅰ 聖ヤコボ喜左衛門への道 結城了悟 コピー

二俣川教会 2023 年聖週間の典礼

- 受難の主日： 4月1日（土） 《枝の主日》 ミサは 17 時からです。
： 4月2日（日） ミサは 9 時からと 11 時からです。
- 聖木曜日： 4月6日（木） 《主の晩餐》 ミサは 19 時から。洗足式はありません。
- 聖金曜日： 4月7日（金） 《主の受難》 大斎・小斎
十字架の道行きは 14 時から、祭儀は 19 時からです。
- 聖土曜日： 4月8日（土） 《復活の聖なる徹夜祭》 ミサは 19 時からです。
ミサ中に洗礼式と堅信式があります。
- 復活の主日： 4月9日（日） 日中のミサは 9 時からと 11 時からです。

マリア会通信 No. 126

今、私たちは四旬節を過ごしています。今年は黙想会が行われて私も参加できましたので、ご復活祭を迎える準備を少しずつ進めることができ、大変ありがたく思っています。

ところがというよりも、何ということでしょう！と言いたいような現在の状況があります。物価の優等生と長年言われてきた鶏卵が、鳥インフルエンザの拡大で供給不足となり、価格高騰している為に、今までいつでもいくつでも買えた鶏卵が、午後にはスーパーの店頭から消えてしまっていますし、値段も高くなっており、卵大好き人間の私は本当に悲しいです。

ご復活祭には大量の卵をイースターエッグ用に購入するということは、今まではほぼあたりまえの発想でしたし、昨年この「マリア会通信」にイースターエッグの話題を載せたのですが、その時には、今のこのエッグショックの状況は予想だにできないことでした。でもよく考えてみると、コロナの流行が始まって満3年以上が経過し、「そんなことあたりまえよ」などと言える事柄がどんどんなくなってきていました。この鶏卵不足の問題も、もしかしたら人間の驕りの結果であって、それに気づかなかっただけなのかもしれません。

灰の水曜日に灰をいただいて、人間は灰に戻るのだから謙虚であるべきだと学んだのですから、ずっとその謙虚さを保ちながら、主のご復活の日をお待ちしたいと思います。

マリア会 F. N.

【編集後記】岡山教会の兄弟姉妹の皆さんに感謝します。昨年 10 月号から計 5 回、二俣川教会守護聖人の「日本二十六聖人を知ろう・学ぼう・そして共に歩もう」企画を連載してきました。同じく、日本二十六聖人を守護聖人にいただく他教会から資料を取り寄せる中で、岡山教会がご親切に対応してくださいました。お陰様で今月号に「号外」として殉教者聖ディエゴ喜斎を紹介できました。日本二十六聖人の歩みに思いを馳せ、知り、味わい、取り次ぎを祈る心を同じくする共同体があることが実感できます。神に感謝！

(A. K. 記)